

2004
No.12

特集

あなたの自立とわたしの自立



あさか
が
ざ

朝霞市男女平等推進情報紙

もくじ

講演会・セミナー報告
昔VS今 教育事情あれこれ
朝霞市女性総合相談
いろいろ情報

「あさか女と男プラン推進委員会」セミナー担当委員の紹介

あなたの自立とわたしの自立



あさか女と男セミナーより

平均寿命がのびて

子育てが終わったら、あれもこれもするぞーっと思っただら……



これってどうなのでしょう。自分の事は自分でできればと思うのですが、せっかく伸びた寿命です。楽しく過ごせたらいいですね。お互いが認め合い、助け合う事ができる、そんな自立を目指したいものです。

子育て奮闘中だからいい

妻は子育ての難しさに、夫は仕事の重圧に二人の会話が……



しょうか。自分が倒れた時、相手の事を心配しなくてすむと、楽だと思いません。靴下の場所も電子レンジの使い方も分らない。まして妻の世話などできなくて困ってしまうのではないのでしょうか。お互いの日常生活が負担にならないようにできたらいいですね。

自分について自口をきくすため

自分の事を自分らしくできたら、楽しいですよ。日頃から自分の生き方や、考え方を見つめながら、自分らしい自立を考えてみましょう。普段の生活や家族や友人、またさまざまな人との関わり

子どもには、自分の事は自分でしなさいと言っているながら、夫の世話をさせさせてしまう等。男の家事体験や場面を取り上げてしまった女たちがいたのも確かです。仕事や育児が夫婦のものとなるように、会話や体験や場面を多く作りた

夫がリストラに



子どもにも一番お金がかかる時期の夫が一人で悩み、苦しんだ末に自殺、などというショッキングな事にならないように、そして家族が崩壊しないためにも、夫婦関係や家族関係を良いものにしていく事が大切ではないでしょうか。何でも話せる関係を作りたいものです。

妻が倒れた

健康という夫は、妻の方が長生きすると思っていませんか。また妻の方も長生きするのは自分だと思っていませんか。だから、夫の身の回りの事をしてしまったりしますよね。これって良い妻なので



中で育てていきたいものです。自分の周りには、自分らしい生き方をしてる人を見つけてみる事も良いかもしれません。自分らしい自立ができると素敵ですよ。

自分チェック

質問に対してか×かで答えてください。
女 男

- 地域の活動やサークルに入っている
- 自慢料理が3つ以上ある
- パートナーの仕事の内容を知っている
- 家族と会話がある
- 家計を夫婦で管理している
- 自分名義の通帳がある
- 友人・知人と一泊以上の旅行ができる
- 身の回りの事は自分でできる
- 外出は好きである
- 趣味を持っている
- スケジュール帳を持っている
- 親しい友人がいる

いかがでしたか。がいくつありましたか。多い少ないではありません。チェックする事で自分を発見する事ができるかもしれません。ぜひ、家族と一緒にやってみてください。

講演会・セミナー報告

朝霞市男女平等推進条例制定記念講演会開催!

平成15年10月9日(木)コミュニティセンターにて「かわらなきや朝霞の女と男」と題して、講師の宝井琴桜さんを講師に迎え、男女の関わりや互いの自立などについて、講話の語りを変えた講演を聞きました。

参加者アンケートの声

- とても軽快な語り口で、身近な男女平等問題をわかりやすく話してくれて良かった。
- 愛情の勘違いを知った。夫も妻も自立をすることが大切、楽しく生活していくことがよいと感じました。など

あさか女と男セミナー第1回講演会「江戸の女性は輝いていた?」

平成15年10月28日(火)コミュニティセンター集會室にて、講師に沢山美果子さんを迎え開催しました。女と男の関わり方を時代に添って語られ、温故知新、まさにそんな言葉を感じるセミナーでした。

参加者アンケートの声

- 男の人が出産にかかわっていたことに、びっくりしました。
- 時代によって言葉の意味や価値観がずいぶん違うことを知った。
- 古文書から近代をのぞいた面白さがあった。
- 今を生きている、という事は歴史を背負っているんですね。など

沢山美果子(さわやま みかこ)氏 ■ 女性史研究家・順正短期大学教授。著書『出産と身体の近世』など、江戸時代と現代との比較から人間の生き様を見つめている。

あさか女と男セミナー第2回「男の生き方セミナー」

平成15年11月22日(土)コミュニティセンター集會室にて講師に守永英輔さんを迎え開催しました。自分らしく生きるには地域社会とのつながりも大切と、これからの高齢化への問題点を考えさせられるようなお話し。しかし、後半では自立について討論する場もあり、さまざまな意見交換が楽しく終えました。

参加者アンケートの声

- テーマの選び方が大変良く、これからも時間のつくかぎり参加したい。
- 今後も定期的に講演をしていただきたい。など

守永 英輔(もりなが えいすけ)氏 ■ 淑徳大学教授。会社を定年退職後、地域の中高年のおやじたちの会「じゃおクラブ」を結成、主宰。趣味からボランティアまで多彩に活動中。

あさか女と男セミナー(中学生向けセミナー)「自信力はどう育つか」

平成15年11月4日(火)、朝霞第三中学校において、河地和子さんを迎え開催しました。

参加者アンケートの声

- 自信力を付けて、僕に足りない発言を多くしたいです。(一年生)
- 自信力は勇気だと思う。(二年生)
- 受験前に先生の話が聞けてよかったです。共感できた。(三年生)
- 人対人として子どもの考えに聞く耳を持ち、理解していきたいと改めて思いました。(保護者)など

河地 和子(かわち かずこ)氏 ■ 慶應義塾大学教授。女性学、黒人学、社会学専攻。思春期の子どもたちの世界4カ国調査を実施し、「自信力」を中心に子どもたちの未来を見つめる。

教育事情 あれこれ



現在、日本の識字率は世界最高水準ですが、江戸時代でも日本全体の識字率は、40〜60%と驚くほど高かったようです。とりわけ江戸市中は100%だった！ネパールは、今でも20〜30%だということを考えるとそのすこさが分かりますね。

江戸の昔、長屋暮らしの庶民の子どもたちでさえ一般に寺子屋として知られている手習い指南所で、読み書きや計算を習っていました。その数、江戸市中で数千といわれています。その日暮らしの庶民の子どもにも読み書きを習わせていました。武家の子どもは公文書に必要な楷書を、商人の子どもは商売で使う草書・行書を、といった具合に必要なに応じて教えたそうです。

その教育のあり様は、現在と比較してどうでしょう。一人ひとりの個性を尊重する教育、といえば現在の

専売特許のように思っていました。教育は権利でも義務でもなんでもなかった昔、親は貧しい暮らしの中から子どもに教育を受けさせました。とりわけ驚くのは、女子の就学率の高さです。女子教育は近代になってからと思っていました。どうしてどうして江戸の人々は進んでいたんですか。昔の暮らしが今より劣ったものだったと、わたしたちはどこかで決めつけていませんか？なかなかやるじゃないですが、江戸町人さん！

本当に必要なことを必要に応じて学習する。だから身につく。読み書きそろばんは、現代でも必要な学習の柱ですよ。今はそれすらキチンとできなくなっていて、なのにたくさんの方のキャリアをこなしていかねばならず、自分の学びたいこと、知りたいことを必要に応じて学ぶことができ、誰かと比べて評価されることもない。昔のように本当に必要なことをシンプルに学ぶ。それはとても大事なことでではないでしょうか。

『江戸事情 文化編』
NHKデータ情報部編 雄山閣出版
『大江戸万華鏡』 牧野昇・会田雄次・大石慎三郎監修 農文協
『お江戸風流さんぽ道』 杉浦日向子 世界文化社
『大江戸ものしり図鑑』 花咲一男監修 主婦と生活社

いろい情報

日本女性会議に行ってきました～！



日本女性会議に参加した
一般公募市民と市職員

女性会議と聞くと「ちょっとこわそう」というイメージがあるかもしれませんが、2003年第20回を迎えた大会は、10月17日、18日に滋賀県大津市で開かれました。3500人余の全国から集った女性の「量」には圧倒されましたが、内容的に「こわそう」ではなく、講演会・パネル・展示等を中心にしたお祝いムードいっぱいゆとりあるプログラムが展開されました。朝霞市からは30代から60代までバラエティあふれる私たち6人が参加させていただきました。女性がより豊かに自己啓蒙され、社会全体がもっと元気になっていったらいいね、という話で盛り上がり、何か私たちにできることを、と策を練っている今日この頃です。（*日本女性会議の報告書を市庁舎に掲示しています。）

あさか女と男プラン推進委員会 セミナー担当委員の紹介

性差にとらわれない社会をめざして、私たちは、学習セミナーの企画や運営をしています。この委員会は強烈な個性の人たちの集まりです。毎月一回、会議を開催しているのですが、時折、巨大なハリケーンが、市役所会議室上空を直撃します。（笑）
阿部哲子、親松 実、金子良子、川野紀代美、木村昌代、崎上徳子、戸高早智子、春野真徳、吉田雅代、綿合厚子

編集後記

今回のテーマはズバリ「自立」。少し堅苦しいようでそうではなく、でも簡単であって意外と難しいものかもしれません。どこか流されやすい現代。何か曖昧で不透明になってしまいたい。だからこそ基本はここ。まずは自分をしっかり持つことから全てが始まるような気がします。

(K)

朝霞市女性 総合相談

悩める女性のために



相談日 毎週木曜日
(祝・休日にあたる場合は前日)
時間 午前10時～午後3時

家族間のもめごとや対人関係の悩み、暴力や虐待、離婚問題などあなたの悩みや問題などに対して経験豊かな専門家がご相談をお受けします。

個人の秘密は守ります。
相談は無料です。

場所 市役所1階 市民相談室
問合せ 市民生活課女性政策係
電話 048-463-2697(直通)